

「もう一度、奇跡を起こしに行く」



負けた悔しさを知っている
だって何度も何度も
悔しい思いをしてきた
どうしても勝ち越せない
相手がいる
飛びついたボールを上げ
『立て』と言われ
歯を食いしばりながら
みんなが歩いた道を
知っているのは
その悔しさを
一年感じていた先輩たち
何度も何度も負けて
悔しい思いを重ねてきた
それだけにこの優勝は
価値があった
私は奇跡だと思った
その奇跡をもう一度
起こしにいこう
奇跡が起きることを
信じてやまない
あきらめないそんな
人にきっと
奇跡は起こすことができる

